

## 富士見市の現状と施策体系

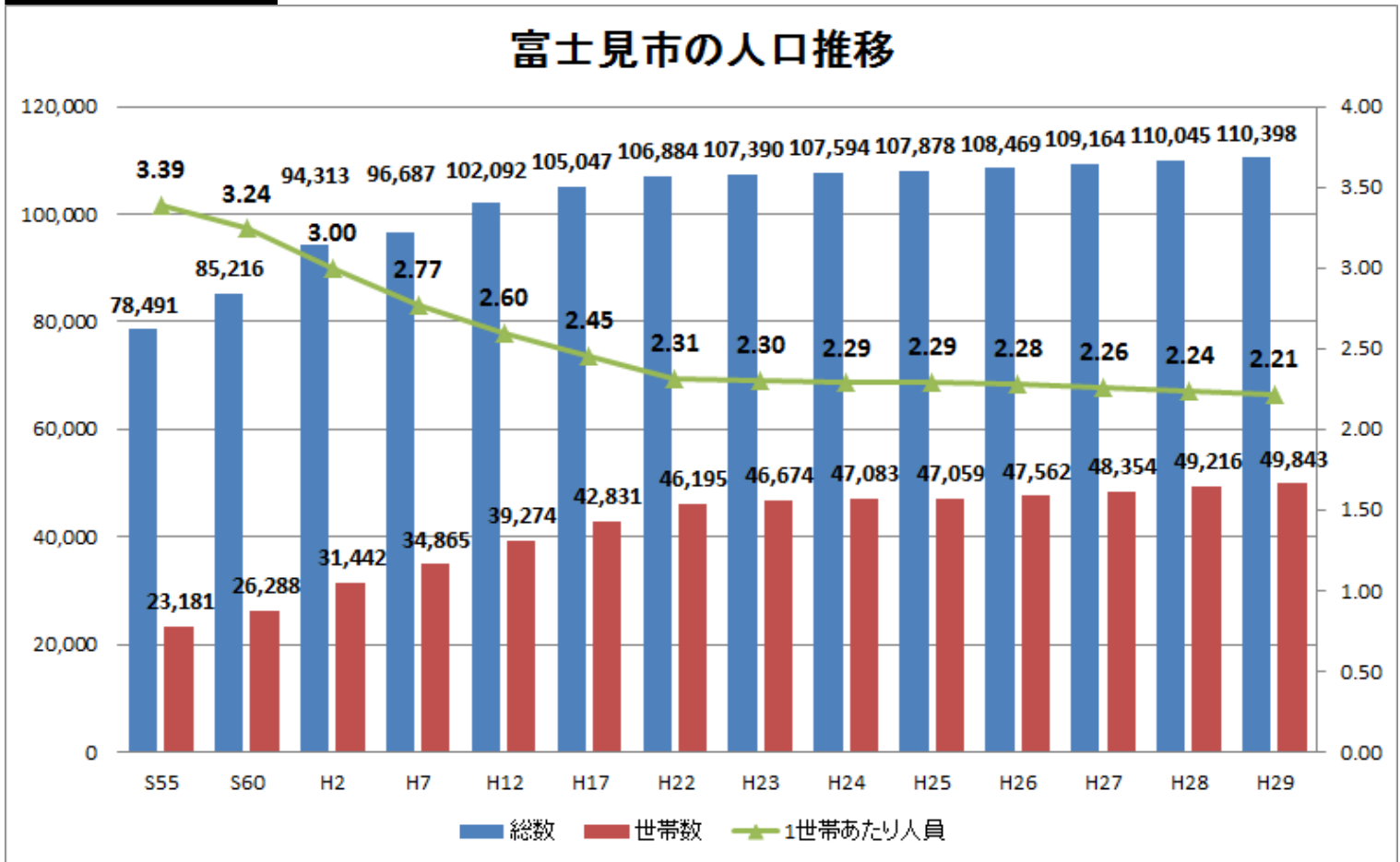
### 1 富士見市の人口

#### ① 人口及び世帯数（住民基本台帳）

本市の人口は、平成27年12月21日に、住民基本台帳人口が11万人に達し、平成29(2017)年1月1日時点の住民基本台帳に基づく本市の人口は、11万とんで398人、世帯数は4万9,843世帯となっており、1世帯あたり人員は、約2.21人となっています。

これを昭和55(1980)年と比較すると、人口は約3万2千人(約1.4倍)増加しているのに対して、1世帯あたり人員は、約1.18人(約0.65倍)減少しています。

#### 本市の人口の推移



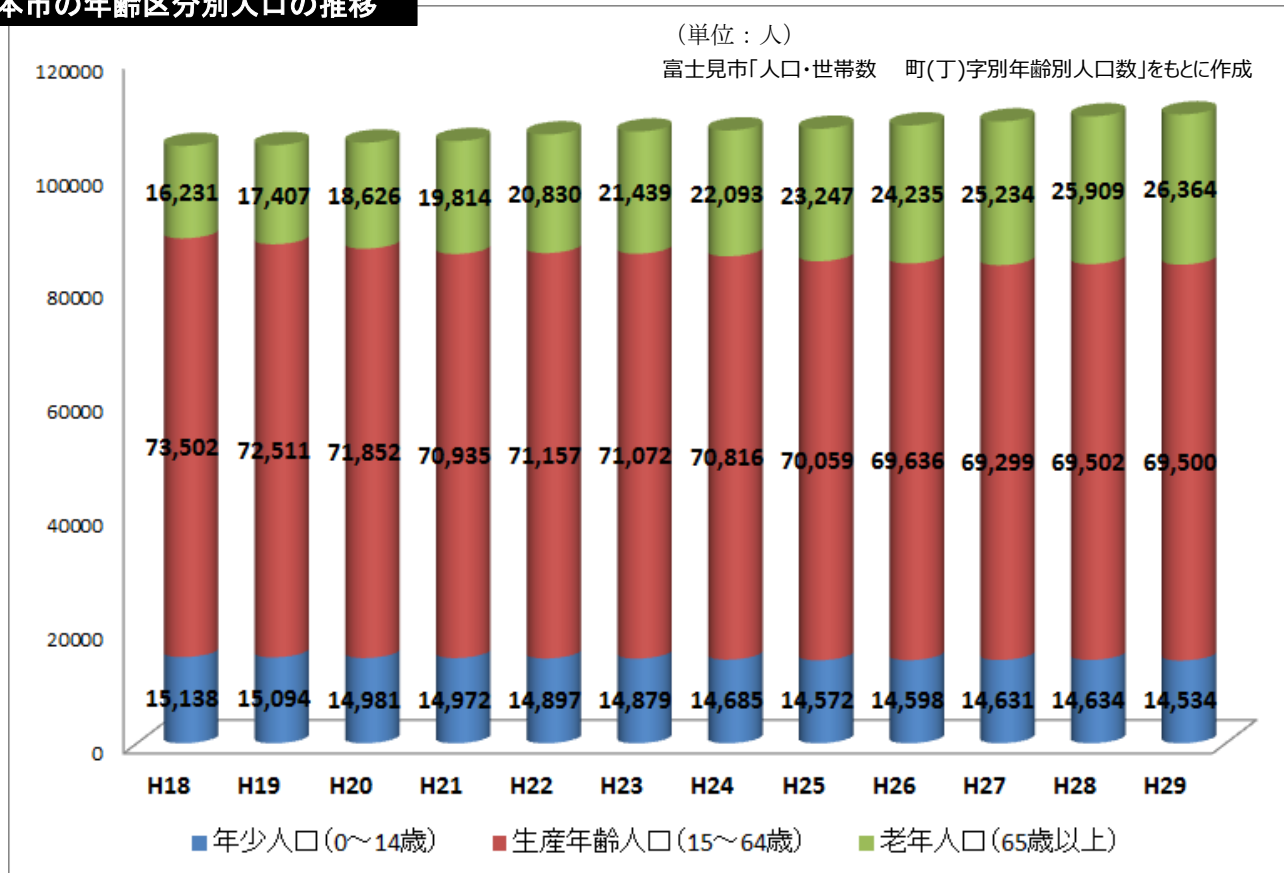
富士見市「人口・世帯数 町(丁)字別年齢別人口数」をもとに作成



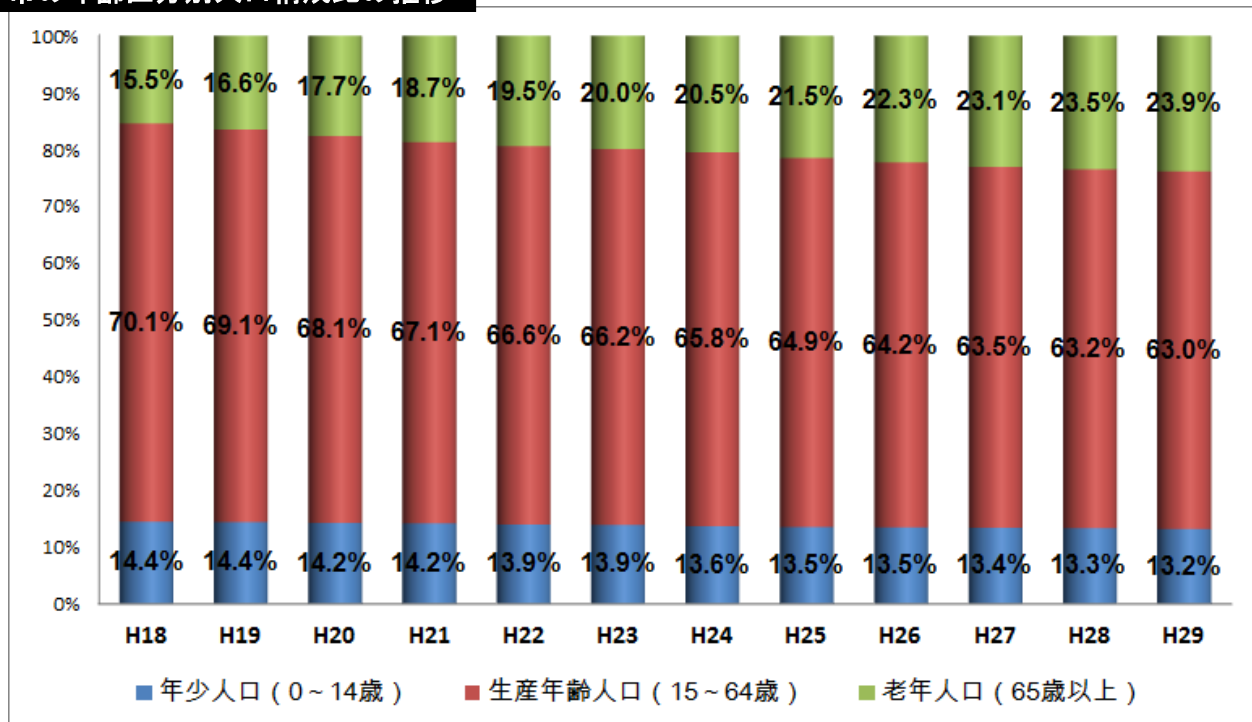
## ② 年齢区分別人口の推移 (住民基本台帳)

平成29(2016)年1月1日現在の年齢3区分別の人口構成比は、年少人口(0~14歳)が13.2%(14,534人)、生産年齢人口(15~64歳)が63.0%(69,500人)、老年人口(65歳以上)が23.9%(26,364人)となっています。

### 本市の年齢区分別人口の推移



### 本市の年齢区分別人口構成比の推移



富士見市「人口・世帯数 町(丁)字別年齢別人口数」をもとに作成

## ③ 国勢調査結果概要（平成22年結果と平成27年結果の比較）

平成27年10月1日現在で調査した平成27年国勢調査と、平成22年10月1日現在で調査した平成22年国勢調査を比較しました。

富士見市	平成27年 国勢調査	平成22年 国勢調査
人口 (1,366人増加) 増加率 約1.3%	10万8,102人	10万6,736人
平均年齢 (1.5歳上昇)	44.5歳	43.0歳
埼玉県	平成27年 国勢調査	平成22年 国勢調査
人口 (7万1,978人増加) 増加率 約1.0%	726万6,534人	719万4,556人
平均年齢 (1.8歳上昇)	45.4歳	43.6歳
国	平成27年 国勢調査	平成22年 国勢調査
総人口 (96万2,607人減少) 増加率 約-0.8%	1億2,709万4,745人	1億2,805万7,352人
平均年齢 (1.4歳上昇)	46.4歳	45.0歳

総務省統計局 e-stat 平成27年国勢調査「人口等基本集計」及び埼玉県「平成27年国勢調査人口等基本集計結果の結果」から作成

## 平成27年国勢調査のポイント(全国、都道府県)

- ・国勢調査開始以来はじめて日本の人口が減少に転じました。
- ・39道府県で人口が減少し、8都県で人口が増加しました。
- ・埼玉県は、都道府県別人口で5位です(1位東京都、2位神奈川県、3位大阪府、4位愛知県)。
- ・埼玉県は、都道府県別人口増加数で3位です(1位東京都、2位沖縄県)。
- ・埼玉県下(区を除く63市町村)では、40の市町村で人口が減少しました。

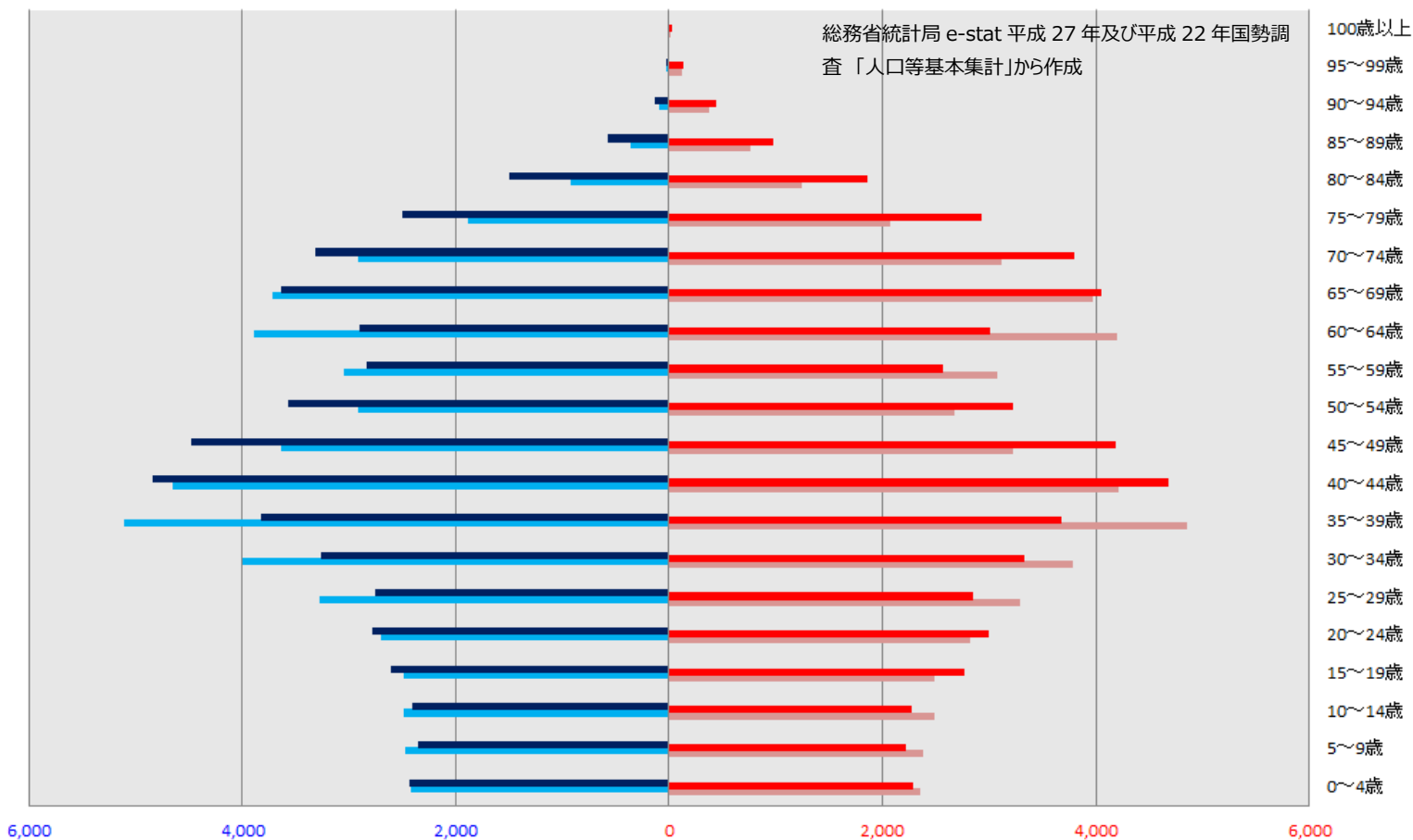
## 平成27年国勢調査のポイント(富士見市)

- ・富士見市の人口は、埼玉県下で21番目です。
- ・富士見市の人口増加数は、埼玉県下で15番目(人口増加率では18番目)です。
- ・富士見市の平均年齢は、埼玉県下で12番目に平均年齢が低いです。

男女別5歳階級別人口ピラミッド(富士見市)  
H22、H27の国勢調査人口比較

H22、H27の国勢調査人口比較 富士見市

(単位：人)



薄い青：平成 22 年国勢調査 男性  
濃い青：平成 27 年国勢調査 男性

薄い赤：平成 22 年国勢調査 女性  
濃い赤：平成 27 年国勢調査 女性

平成 37 年（2025 年）には、日本では老年人口（65 歳以上）の方の割合が 3 人に 1 人となると言われており、また、平成 28 年 3 月に策定した「富士見市キラリと輝く創生総合戦略」において、富士見市では平成 37 年の老年人口の方の割合を、およそ 4 人に 1 人となると推計しており、人口減少と少子高齢化を大きな問題とらえています。

問題点

生産年齢人口比率の縮小

問題点

地域力の縮小

問題点

福祉分野の需要拡大

など

## 2 市長の政策方針・・・ふじみ☆ビジョン21+

市長は、新たに3つの政策方針を掲げています。

### 「活気と賑わいでつくる富士見市！」

平成27年4月に開業した大型商業施設「ららぽーと富士見」を原動力としながら、バス路線や鉄道の駅を3駅持つ優位性を活かして、地域経済の振興を図ります。

### 「スクスク子育てと確かな教育は富士見市で！」

全国規模で表面化している人口減少社会をふまえ、妊娠、出産から切れ目のない子育て支援、子ども達の学力を伸ばす教育の推進、学校環境の改善に取り組みます。

### 「共に支えあい、元気でイキキ。ズ〜っと富士見市で！」

保健・医療・福祉の充実や、関係専門機関との連携により、健康長寿社会を目指していきます。また、豊かな知識や経験を持ったシニア世代の方々の社会参加を促すなど、共助によるまちづくりに取り組みます。

また、3つのキーワードで、元気な市役所を目指します。

### 「創意工夫」

戦略的なシティプロモーション等に取り組み、付加価値や新たな財源の創出に取り組みます。

### 「改革改善」

これらも行財政改革に真摯に取り組み、業務の効率化や支出の削減等の改善を進め、財政の健全化に努めます。

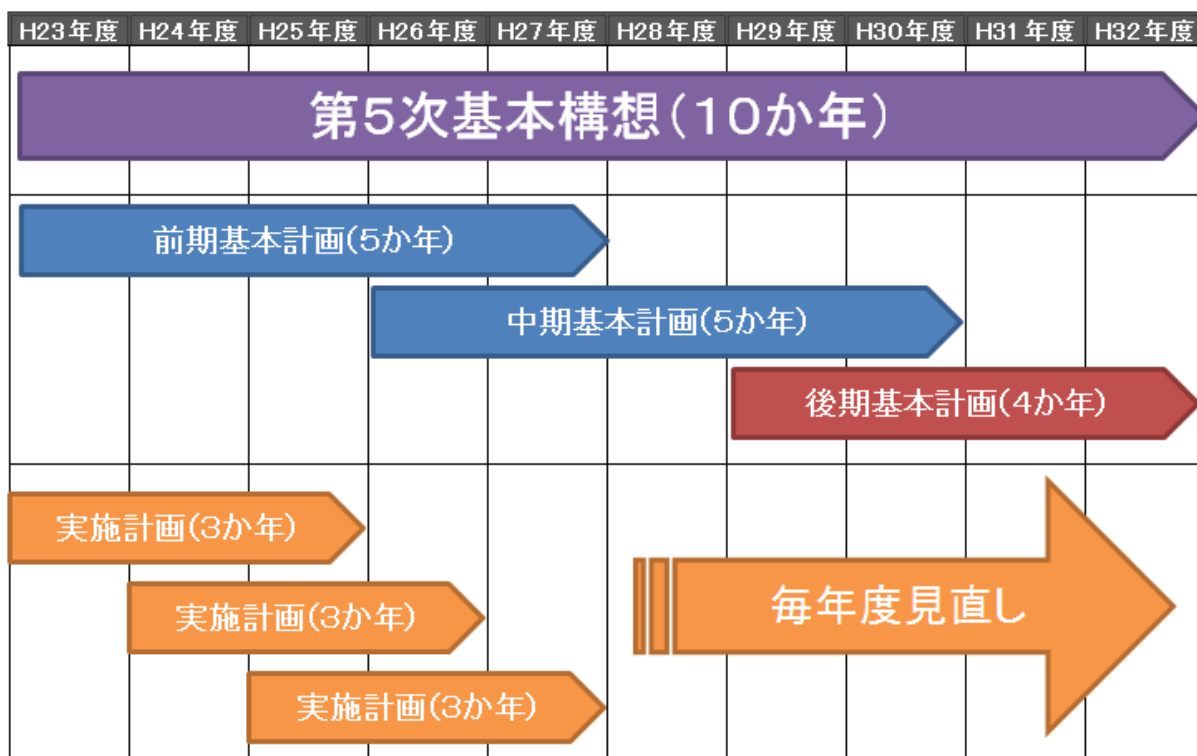
### 「感性・感謝」

感性と感謝の心を忘れない前向きな市役所を目指して、新たな人材育成と組織力の強化に取り組み、多様化する行政課題や市民の皆様のニーズに対応していきます。



**「誰もが住みたい、住み続けたい」、「選ばれる」まちづくりを進めます。**

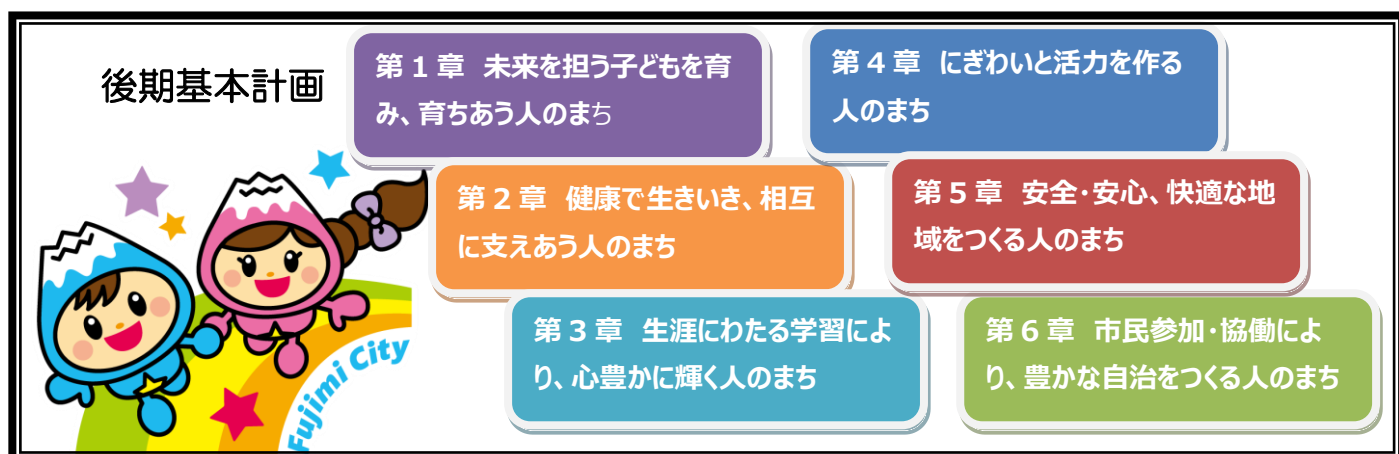
### 3 第5次基本構想後期基本計画（平成29年度～平成32年度）



富士見市では、今年度、第5次基本構想の締めくりとなる後期基本計画を策定し、平成29年3月議会に上程しました。

後期基本計画は、これまでの基本計画に基づく取組み、社会情勢の変化、総合戦略、ふじみビジョン21+をふまえた、第5次基本構想が目指す将来都市像「ひととまちがキラリとかがやく市民文化交流都市 人と人の絆と和 地域が主役のまちづくり」を実現するための取組みを定めています。

平成29年度から、この後期基本計画に基づいた実施計画を定め、様々な行政課題解決のための施策に取り組めます。



#### 4 第6次行財政改革（平成28年度～平成32年度）

本市では、厳しい財政状況や拡大する行政ニーズをふまえ、**質の高いサービスを効率的かつ効果的に提供するために**、4つの改革項目を大柱に位置付けた第6次行財政改革大綱を定めました。

第6次行財政改革行動計画は、4つの大柱実現のための施策や改善の取組みを施策体系（小柱）ごとにまとめたものです。

大綱	改革の大柱	
<b>第6次 行財政改革大綱</b>	<b>大柱(1) 市民協働・民間活 力活用の推進</b>	市民の目線・地域の力・民間活力を交えた、協働による行政運営を推進し、共通の課題認識のもとで、お互いの立ち位置を最大限に活かした魅力的なまちづくりを進めます。
	<div style="border: 1px dashed green; padding: 5px;"> <p><b>小柱① 市民参加・協働の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の意見を聴きとり課題を共有するための場作り</li> <li>・市民の知恵や視点を活かす事業提案制度の実施</li> <li>・市の方針を定める審議会等の委員の公募</li> <li>・地域コミュニティづくりの支援</li> <li>・広域的な意見交換による地域力を活かしたまちづくり</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed green; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>小柱② 民間活力の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間の力を活用した公共施設サービスの充実</li> <li>・学識経験者等との連携による、新たな事業の展開</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed green; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>小柱③ 情報発信と情報共有化の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットや SNS 等をはじめとした情報発信、情報共有</li> <li>・メディアを通じた情報発信</li> <li>・マスコットを介した PR 等の情報発信</li> </ul> </div>	
<b>第6次行財政改革行動計画</b>	<b>大柱(2) 人材育成の推進</b>	多様化するニーズや地域課題に対応するため、職員一人一人の資質向上や、組織風土の醸成を図ります。
	<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p><b>小柱① 職員の能力開発の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化する行政課題やニーズに合わせた研修内容の見直し</li> <li>・評価制度導入による目標の自己管理と目標に基づく研鑽</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>小柱② 人材の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員採用試験制度の研究</li> <li>・女性職員が働きやすい職場環境づくり</li> <li>・事務量の増加に対応するための適切な職員配置</li> </ul> </div>	

<b>第6次 行財政改革大綱</b>	<b>大柱(3) 効果的かつ効率的 な行政運営の推進</b>	市が実施する行政サービスが、より効率的かつ満足度の高いサービスとなるよう、サービスの提供方法や運営手法といった様々な角度で改善を図ります。
	<b>第6次行財政改革行動計画</b>	
	<b>小柱① 行政サービスの向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会情勢の変化に応じた窓口サービスの改善</li> <li>・ 事業の進捗を可視化するための評価</li> <li>・ 利用者ニーズを考慮した公共施設の利便性向上</li> </ul>	
	<b>小柱② 行政課題に対応した組織運営</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移り変わる行政課題に対応する行政組織の検討</li> <li>・ 老朽化する公共建築物の計画的な運用</li> <li>・ 電子入札による入札の透明性と利便性の向上</li> <li>・ 時間外勤務抑制による能率的な職務の遂行</li> </ul>	
	<b>大柱(4) 持続可能な財政運 営の確立</b>	将来にわたり安定した行政サービスを続けるため、安定的な自主財源の確保や支出の削減を図ります。
	<b>第6次行財政改革行動計画</b>	
	<b>小柱① 健全な財政運営の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公正かつ公平な負担と債権管理の適正化</li> <li>・ 税収基盤の整備と計画的な財政運営</li> </ul>	
	<b>小柱② 歳入確保・歳出削減の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市有財産の運用と自主財源の確保</li> <li>・ 省エネルギー化による経費の抑制</li> <li>・ 産業誘致による新たなにぎわいづくり</li> </ul>	